

二人称代詞“你”と“您”の使い分けについて

関 光 世

- 0 はじめに
- 1 二人称敬語体代詞“您”をめぐる諸説と問題点
 - 1.1 “您”についての説明
 - 1.2 陳(1986)の論点
 - 1.3 ディクテーション結果から見た問題点
- 2 《編輯部的故事》に見る“你”と“您”の使用
 - 2.1 話し手自身の特徴—年齢・性別・性格
 - 2.2 聞き手との関係—高親密度下における使用状況
 - 2.3 親密度の変化とその影響
 - 2.4 意図的な変換と無意識の変換
- 3 まとめ
 - 3.1 《編輯部的故事》における代詞の選択と変換
 - 3.2 効果的な学習のための提案

キーワード：二人称敬語体代詞、力関係、連帯関係、選択と変換、親密度

0 はじめに

筆者は中国のテレビドラマ《編輯部的故事》のディクテーション作業¹⁾を通して、二人称代詞“你”と“您”の聞き間違いが意外に目立つことに気付いた。ドラマ三本分で聞き間違いは34例あり、そのうち約8割の27例が、筆者は“你”だと聞き取ったがネイティブスピーカーに“您”であると訂正されたものだった。このパターンの聞き間違いが多い理由について筆者は、第一に音声が曖昧な場合、日本人学習者はトップダウン処理の過程²⁾で日本語の敬語に関する知識を動員して処理するためにミスが生じる、第二に日本人学習者にとって“你”と“您”では“你”のほうがより親密度³⁾が高いために選択してしまいやすい、と指摘した。つまり“你”と“您”の使い分けに関する知識が十分でなかったが故のミスということになる。

考えてみれば“你”と“您”は中国語学習において最初に学習する項目のひとつで、教室ではごく簡単に単数二人称の「あなた」とその敬称「あなた様」といった程度の説明だけで終わり、その後はほとんど注意を払われることなく当たり前のように使用されている。しかし、この二つの代詞の使い分けには中国語における丁寧さや敬意の表しかたや話し手と聞き手の関係、話し手の意図など社会言語学的要素や語用論的要素も関係しており、大変広範で深い内容を含んだ学習項目だと言える。

そこでこの機会に、ディクテーションを行った《編輯部的故事》における使用状況を90年代初頭の北京語における“你”と“您”の一例として整理すると同時に、それらが中国語教育の現場で現在どのように説明され、日本人学習者にとっての学習上の難点或いは問題点がどこにあるのかを見定め、そのうえで、この学習項目をより効果的に習得するための教育法について提言を試みたい。

1 二人称敬語体代詞“您”をめぐる諸説と問題点

1.1 “您”についての説明

二人称の敬語体代詞である“您”が中国語学習のどの段階で、どのように説明されているかについて、主要な辞書、文法書、テキストを参考にまとめてみる。

《現代汉语词典》では簡潔に“nín 人称代词。你；你们（含敬意）”と記載されている⁴⁾。『白水社中国語辞典』⁵⁾は「代詞（単数2人称‘你’の敬称）あなた、あなた様。……時にわざと‘您’を用いて相手に対する嫌悪を表すこともある。」と説明して、“您”の周辺的な意味にも触れている。文法書『Why?にこたえるはじめての中国語の文法書』⁶⁾は第3課で「第2人称“你”nǐをより丁寧に敬意を込めて言うときに“您”を使います。」と、“您”が敬意と同時に丁寧さも表すことを指摘している。さらに『中国語文法教室』⁷⁾では第1課で「“您”は第2人称の敬語体です。北京ではよく用いられますが、他の地方ではあまり使いません⁸⁾。普通話としては通常初対面の人、人生の先輩、外国人などに対して用います。」と述べ、“您”を選択する具体的な相手や状況について一步踏み込んだ説明を加えている。つまり、全てに共通するのは「“您”は“你”の敬称である。」という点だけで、“您”の意味範囲、“你”との使い分けに関わる社会的或いは語用論的要素などについての説明は全く統一性を欠き、部分的な説明が散見されるだけなのだ。

筆者が授業で使用しているテキスト《速成汉语初级教程》⁹⁾では“您”は第2課の発音学習の段階で初出する。訳は英語で“you”とあるだけで説明は全くない。課文には“你好！”，“你们好！”とともに、学生の教師に対する挨拶の例として“您好！”が挙げられており、“你”を“您”に変えて敬意を表すことを学習させる狙いが見られる。しかし学習が進むと、ホテルの従業員と客である留学生がお互いに“先生，您好。”“您好，小姐。”と挨拶する場面に出くわす¹⁰⁾。「敬意を表すべき相手には“您”を使う」と覚えていた学生の中には、従業員が客に“您”を使うのは納得できても、逆の場合に“您”を使うことには違和感を感じる者もいるようだ¹¹⁾。

また別のテキスト『話す中国語 北京篇1』では“您”は第7課で初出する。そこでは日本人留学生が初対面の留学生寮の従業員に“您好！”と話しかけ、従業員が“您贵姓？”と尋ねる¹²⁾が、途中から従業員は“你的护照呢？”，“给你钥匙。”と聞き手が同一人物であるに

もかわらず“您”から“你”に変えている。学生は「結局どちらでも良いということか。」と解釈し、深く考察することを止めてしまうようだ。実はこれらは『中国語文法教科書』や『Why?にこたえるはじめての中国語の文法書』が触れている「初対面の人に対して使う」、「丁寧に言う」用法で、いわば「丁寧語」的な“您”である。

“你”と“您”は中国語学習において入門期の極めて早い段階に学習し、まさにそれ故に「“您”は“你”の敬称である」という点が最低限必要な説明だと認識され、丁寧語としての用法や様々な状況や相手による選択の違い、さらにそれに伴う意味の変化、代詞の変換などの問題について教えることはほとんどない。結果的に学習者は母語の敬意の表し方や丁寧さの表現を参考に、経験的に“您”を使うべき相手や状況を習得して行くことになるが、学習が進むと時に上に挙げたテキストのような状況に遭遇して戸惑う結果を招いている。

1.2 陳 (1986) の論点

陳松岑 (1986) は、「単数二人称のふたつの代名詞の使い分けは力関係 (Power) と連帯関係 (Solidarity) に左右される」という主張¹³⁾を基礎に、社会言語学的な立場から、北京語における二人称代詞“你”と“您”の選択と変換¹⁴⁾に係わる社会的要素及び選択の結果代詞に付加される特殊な意味機能について考察した論文で、示唆に富んでいる。拙稿は陳の考察を基礎に置きつつ《編輯部的故事》における使用状況を整理して行きたい。そこでまず陳の論点を整理しておく。

「代名詞の使い分け」とはその選択だけでなく変換の問題も含んでいる。陳は8本の話劇¹⁵⁾の脚本から具体例を挙げながら“你”と“您”の選択と変換に係わる社会的な要素を次の3点にまとめた。

- a. 年齢・職業など話し手自身の社会的な属性。
- b. 話し手と聞き手の関係 (力関係と連帯関係)。
- c. 具体的な状況、話し手の態度や話題の内容。

上の3点について概括すると以下のとおりである。代詞の選択は話し手自身の社会的な属性——成人か子供か、肉体労働者か頭脳労働者かなど、に影響される。次に聞き手との関係が上役と部下、親と子供などの力関係にあるのか、同僚、同郷、兄弟など何らかの点で共通項があり仲間意識を伴う連帯関係にあるのかによっても影響される。また人間関係は固定的なものでなく刻々と変化するものなので、その関係の変化やある場面での状況、話し手の態度などによって一時的に代詞の変換が生じることもある。

私たちは母語の習得においてもさまざまな相手に対してどのように丁寧さや礼儀作法、配慮を示すかを体験的に学習しており、上の指摘は概ね納得できる。

選択と変換に伴って代詞が表す特殊な意味について、陳は話し手と聞き手の関係ごとに原義・派生義に分けて示した¹⁶⁾。これらの派生義について異議はないものの、この分析の過程で、陳論が人間関係における力関係と連帯関係の二者択一を前提に代詞の選択・変換及び意味の変化を考えているように映った。実際の社会においては、たとえば年齢は違うが職場の同僚であるとか、同級生だが相手は浪人して年上である¹⁷⁾など、どちらの関係にあるのか判然としない場合もあるのではないだろうか。

さらに陳は代詞の変換について、話し手の聞き手に対する意図的な変換と、緊迫した状況下でとっさに使用してしまった、話題が重要かつ厳粛で人間関係に意識が及ばず誤って使用した、熟語・虚指・泛指においては基準となる選択が“您”であっても“你”を使用する、などの無意識の変換を挙げた。このほかに「話し手と聞き手の関係が密接でなく、不安定で、地位も同じ程度の場合」に起こり、「多くが派生義で使用している」ような無意識の変換の存在を指摘し、この種の変換には特殊な目的はないと分析する。さらにこの種の変換が起こる理由のひとつとして、北京語においては“您”は“你”より後から生まれたもので、敬語体“您”の出現に伴ってこれと対立する“你”¹⁸⁾が生まれ、無意識の変換は「“您”と対立する“你”」への変換ではなくもとの“你”（陳は「中性の“你”¹⁹⁾」と呼んでいる）への変換であるため両者の間に意味の違いが余りないように感じるのだと説明している。

前に述べた人間関係についてここで陳は「話し手と聞き手の関係が密接でなく、不安定で、地位も同じ程度」という極めて曖昧な関係の存在を認める形となっている。

「2つの“你”」の考え方にも疑問が残る。なぜわざわざ“你”を2つに分ける必要があるのか。「中性の“你”」が単数二人称のプロトタイプであるなら、“您”と対立する“你”の意味を“你”の大きなひとつの意味範疇に存在する派生義として捉えたほうが理解しやすいと考える。

以上2点が陳論に対する筆者の現段階での疑問であるが、次章においてはこれらの疑問を念頭において《編輯部的故事》における使用例を観察したい。

1.3 ディクテーション結果から見た問題点

すでに述べたように、筆者がテレビドラマ《編輯部的故事》三話分をディクテーションしてネイティブチェックを受けたところ、筆者は“你”だと聞き取ったが“您”に訂正された例は27例あった。それらは以下の3つのグループに分類できる。

(1) 明確な力関係の見落としによるミス…4例

この種の聞き間違いは編集部員から出版社の社長、編集部員から編集長、孫から祖父など、話し手と聞き手の社会的な立場や世代の違い、つまり力関係が明確な場合に起こったものである。同じ話し手と聞き手で聞き間違えなかった他の例を見てみると、ほとんど“您”を選択しているといった場合が多かった。従ってこの種の聞き間違いは音声の曖昧さに気をとられ、両者の関係を参考にどちらを選択すべきかについてトップダウン処理を誤った事によるミスと考

えることができる。

(2) 代詞の選択と変換に関する知識不足によるミス…10例

この種の聞き間違いは校正された原稿を見ても意外に感じるが多かった。例えば年長者である王大爺が余徳利に、客である余徳利がウェイトレスに、求人側が求職者である米継紅に対して“您”を選択するというのは通常考えにくく、音声が曖昧でも“你”を選択するはずだと考えてしまいがちである。しかしここでは“您”でなければならない。例えば王大爺は余徳利に14回中この1回しか“您”を選択していないが、例文を見てみると、“您”を選択したのには明確な意図があることがわかる²⁰⁾。この種のミスは話し手の意図的な変換についての知識不足による。また次章でも触れるが余徳利がウェイトレスに“您”を選択するのは1.1のテキストの例と同じく我々日本人には奇異にうつることがある。これは中国語の敬意の表し方、敬語観といったものに対する無知によるミスと言える。

(3) トップダウン処理が役に立たないことによるミス…13例

この種の聞き間違いは編集部の同僚や先輩後輩の間の会話、特に異動して来たばかりの王师傅をめぐる台詞に多く見られた。特徴的なのは聞き間違えなかった他の例を見ても(1)のようにほとんどで“您”を選択しているわけではなく、“你”と“您”が混在している点である。しかも異なった選択をした際に(2)のように話し手の意図があるようには見えず、恣意的に選択しているようにも思われる。このような場合我々は音声情報に頼るしかなく、既存の知識を活用して判断するトップダウン処理は役に立たない。数から言うところのこの種のミスが最も多い。

以上から話し手と聞き手の力関係が明確な場合は“您”と“你”の選択は固定的で、聞き取りにおいてもそれほど問題にはならないが、(2)のように話し手が意図的に代詞を「変換」させている場合や特殊な選択の場合、また(3)のように全体的にみてもその選択がどちらか一方に集中していない場合にはトップダウン処理が難しく、聞き取りにおける難点であることがわかる。

2 《編輯部的故事》に見る“你”と“您”の使用

本章ではテレビドラマ《編輯部的故事》三話分の台本で確認された422例の“你”と153例の“您”を九十年代初頭の北京語²¹⁾における二人称代詞“你”と“您”の使い分けの一例として、その使用状況について整理してみたい。

《編輯部的故事》はある出版社の編集部を舞台にした社会風刺に富んだコメディドラマで、陳論文で取り上げられた話劇²²⁾に比べると時代が新しく、より現在の用法に近い。この物語は原則的に職場の同僚として極めて親密な関係にある6名の編集部員と、毎回入れ替わりで登場するゲストによって構成されるため、職場のボス・先輩・同僚・後輩・ゲストという限定さ

れた人間関係における使用例を集中的に観察することができる。本章では特に人間関係における力関係と連帯関係に密接に係わりと見られる親密度に着目して観察したい。

題材とした三話のあらすじは必要に応じて後に触れるとして、後の説明を簡潔にするため、まず主な登場人物の年齢・性別・地位など人間関係を表にまとめておく。

表1 登場人物と人間関係の概要

人 物	紹 介
陈主编	男性，編集部では最高齢でボス。
牛大姐	女性，50代，編集部員で刘书友とは同僚。
刘书友	男性，50代，編集部員で牛大姐とは同僚。
李冬宝	男性，30代，編集部員戈・余とは同世代で同僚。
戈 玲	女性，20代後半から30代，編集部員李・余とは同世代で同僚。
李社长	出版社の社長，編集長のボス。
米继红	第四集ゲスト，女性，10代後半から20代前半，出稼ぎ労働者，家政婦。
王师傅	第八集ゲスト，男性，李・戈と同世代，編集部に異動，元は職員食堂の調理師。
王大爷	第十九集ゲスト，男性，登場人物の中でも最高齢，70代か，缨子の祖父。
缨 子	第十九集ゲスト，10代前半の少女，王大爷の孫。

2.1 話し手自身の特徴—年齢・性別・性格

陳(1986)では“你”と“您”の選択に影響する要素として、話し手自身の社会的な特徴を第一に挙げ、年齢と職業の例を挙げていた。この他にも性別や社会的地位などが知られているが、《編輯部的故事》においては年齢と性別による選択の違いの他に、個人の性格が選択に影響する例が観察された。

(1) 年齢：主な登場人物をおおよその年齢順に並べ、“你”と“您”の出現回数を本人が使用した回数（使用回数）と相手に使用された回数（被使用回数）に分けて表2と表3に示す。

一般的に考えられるとおり，“您”の使用回数は年齢が高いほど低く、年齢が低いほど高い。一方“您”の被使用回数は年齢が高いほど高い。最高齢の王大爷に対しては同世代の友人（3例）以外は皆基本的に“您”を使用しているが、彼自身は誰に対しても“您”を使うことはない。王大爷が“您”を使用した唯一の例²³⁾は、明確な意図を伴う「変換」なのでここでは無視できる²⁴⁾。

またこれらの表から王师傅の“您”の使用／被使用回数が同世代の李冬宝や戈玲と比べると高いことに気付くだろう。これは王师傅の場合他に何らかの要素が強く働いていることを示していると思われるが、この点については次節で触れる。

表2 人物別被使用回数

人物	你	您
王大爷	6	42
李社长	1	3
陈总编	12	12
牛大姐	14	12
刘书友	7	4
余德利	52	6
李冬宝	111	9
王师傅	59	39
戈 玲	28	4
纓 子	35	0

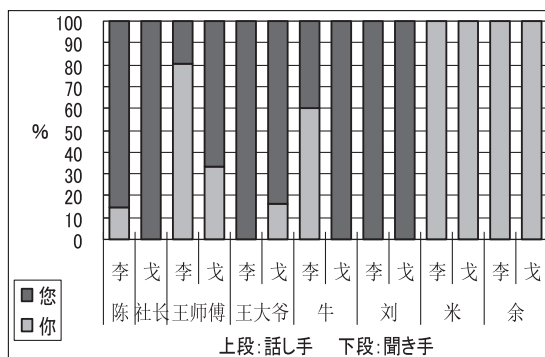
表3 人物別使用回数

人物	你	您
王大爷	25	1
李社长	7	0
陈总编	41	0
牛大姐	27	0
刘书友	9	2
余德利	72	33
李冬宝	87	26
王师傅	30	21
戈 玲	61	41
纓 子	4	6

(2) 性別：次に同世代の編集部員李冬宝（男性）と戈玲（女性）の代詞の使用状況から性別による選択の違いを観察してみる。二人が同じ相手に対して選択した“你”と“您”の回数を表4に示し、それぞれの全体に占める割合をグラフ1に示した²⁵⁾。

表4 性別による使用状況

話し手	聞き手	你	您
李	陈主编	1	6
戈	李社长	0	3
李	王师傅	25	6
戈		13	26
李	王大爷	0	8
戈		1	5
李	牛大姐	3	2
戈		0	1
李	刘书友	0	1
戈		0	1
李	余德利	11	0
戈		6	0
李	米继红	25	0
戈		11	0



グラフ1 性別による使用状況

グラフ1から、聞き手が王师傅と牛大姐の場合の選択に若干の違いがあることがわかる。女性である戈玲のほうが李冬宝よりも“您”を多く使用する傾向が見受けられる。王大爷や陈主编・李社長のよう、年齢や地位の違いが明確である場合の選択の傾向はほぼ同じだが、力関係が微妙な場合には男性より女性のほうが“您”を多く選択する傾向があるようだ。

(3) 性格：第四集《小保姆》に登場する米继红の使用例からは、話し手の個性や性格が代詞の選択に大きく影響する様子を見て取ることができて大変興味深い。

第四集は田舎から出稼ぎに来て住み込みのベビーシッターとして働く米继红が、待遇の悪さに耐えかねて編集部に助けを求め、編集部員が就職口を世話しようとする。しかし折からのベビーシッター不足と彼女自身の性格から事態は思いもよらない方向へと発展するという物語である。他の登場人物の米继红に対する代詞の使用状況を表5に、その逆の使用状況を表6にまとめた²⁶⁾。

表5 米继红に対する使用状況

話し手	你	您
李冬宝	27	0
余德利	7	0
刘书友	1	0
戈玲	11	0
雇主	11	8
赵妈	1	0

表6 米继红の使用状況

聞き手	你	您
李冬宝	19	6
余德利	5	1
雇主	3	0
老王	2	0
赵妈	1	0

まず、彼女を雇おうと面接にやってきた人々（表中の雇主）が米继红に対して8例も“您”を使っているのに、米继红が自分の雇い主になるかもしれない初対面の人達（後に雇い主となった老王と赵妈を含めても）に対して1度も“您”を使用していないことに気付く。彼女の年齢と社会的な立場から判断して李冬宝と余德利に対しても“您”を選択すると予見されるが、使用回数は極めて少ない。

米继红の代詞の選択は作者が彼女の人物像をより効果的に描き出すために創作したものと考えられる。一般的には考えにくい選択をすることで、我々は米继红と彼女を取り巻く人々との会話から、彼女の傲慢で凶々しい性格を感じ取ることができると同時に、そのやりとりにある種の滑稽さを生み出している。下例を比較されたい。作者は米继红と雇い主との代詞選択に鮮明な対比を描き出すことで彼女の人物像を強く印象づけることに成功している。話し手の性格が代詞の選択に影響する要素のひとつ²⁷⁾であることを示す例だと言うことができるだろう。

[米继红→雇主]

(1) 你把肉票撕了我怎么办呀？ 我可是没肉吃不下饭啊。

(肉の配給券を破いてしまったら私はどうすればいいの？私、肉がないとご飯が食べられないのよ。)

[雇主→米继红]

(2) 那厨房，厕所都可以归您一个人儿使。跟您这么说得，您就是想分出去单过都行。

(台所もトイレも君一人で使っていていいんだよ。一人で別に住みたいって言ったって構わないよ。)

2.2 話し手と聞き手の関係—高親密度下における使用状況

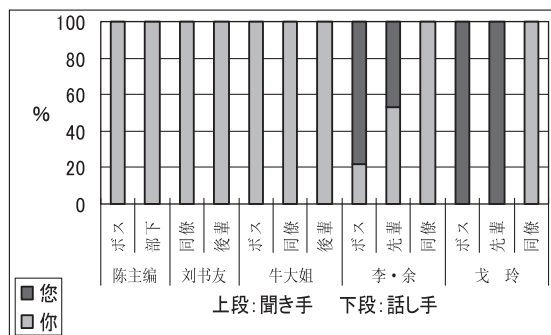
6名の編集部員は親密度の高い連帯関係にある一方で、李冬宝、余德利及び戈玲の3人が若手、刘书友と牛大姐が中年層、さらに年配の陈主编という3つの年齢層に分けられ、陈主编をボスとして先輩・後輩・同僚という関係にもあり、年齢と社会的地位の違いという力関係も同時に存在する。

筆者が前章で陳の人間関係における力関係と連帯関係の二者択一を前提とするような捉え方に違和感を覚えたのは、編集部員らの使用例をながめるうちに、二者択一が困難な関係も存在するのではないかと感じたからである。本節ではまず編集部員同士の使用状況を観察し、高い親密度の下での代詞の選択について特徴をまとめてみる。

表7は編集部員が職場での地位に応じて相手にどのように代詞を使い分けているかを例文数

表7 高親密度下での使用状況

話し手	聞き手	你	您
陈主编	ボス	1	0
	部下	36	0
刘书友	同僚	2	0
	後輩	4	0
牛大姐	ボス	4	0
	同僚	3	0
	後輩	15	0
李・余	ボス	2	7
	先輩	9	8
戈 玲	同僚	40	0
	ボス	0	3
	先輩	0	2
戈 玲	同僚	32	0



グラフ2 高親密度下での使用状況

で示したものの、グラフ2はその割合を示したものである。

戈玲は職場のボスと先輩に対して“您”を使用している。しかし、同じ若手の李冬宝と余德利は陈主编に対しても時に“你”を使い、陈主编と比べると地位の違いが明確でない刘书友と牛大姐に対しては“你”と“您”をほぼ同程度使用している。また牛大姐は陈主编に対して同僚や後輩に対してと同様に“你”を使用している。陈主编も自分のボスである出版社の李社長に対して“您”を使用していない。

親密度が高いと相手との多少の力関係は黙認されてしまうのだろう。高い親密度の下では自分よりも力関係が上の相手に対しても“您”を使用しない傾向がある。これによって話し手と聞き手の関係においては親密度も代詞の選択に係わる要素のひとつであることがわかると同時に、親密度によって生じる力は力関係に影響を及ぼし、“您”を選択しない方向に作用することがわかる。

2.3 親密度の変化とその影響

筆者は2.1の表2と3で、王师傅をめぐる代詞の選択が他の登場人物とは傾向が異なると指摘した。王师傅と他の編集部員間の決定的な違いは親密度である。第八集は出版社の食堂で働く調理師の王师傅が、肥満が原因で食堂にしばらくになり編集部に異動し、李冬宝らの発案でダイエットを始めるが思うように行かず、次第にエスカレートして騒動となるという物語で、レギュラーの編集部員にとって王师傅は同僚とは言え異動して来たばかりで、親密度は他の編集部員と比べてかなり低い。

ここでは王师傅と編集部員間の使用状況とレギュラーの編集部員同士の使用状況との比較をとおして、親密度の低い状況での代詞選択の特徴について観察する。さらに初対面や電話などの会話から、親密度がゼロの場合についてもその影響を観察する。

(1) 低親密度下での使用状況

編集部員の王师傅に対する使用状況を表8に、その逆の使用状況を表9²⁸⁾にまとめた。

表8 低親密度下での使用状況（→王师傅）

話し手	你	您
陈主编	3	0
牛大姐	3	0
刘书友	2	2
李冬宝	25	6
余德利	8	3
戈玲	13	26
厨师	1	1

表9 低親密度下での使用状況（王师傅→）

聞き手	你	您
陈主编	2	5
牛大姐	0	5
李冬宝	16	3
余德利	2	3
戈玲	7	4
厨师	0	1

表8からもわかるように、親密度の高い同僚には全く“您”を使用していなかった李冬宝と余德利が王师傅に対しては25%から50%の割合で“您”も使用している。戈玲などは同世代でありながら“您”の方を多く選択している。さらに一定の年齢差があり、職場の先輩でもある刘书友も両方を使用している。

表9を見てみると、王师傅は職場の先輩である牛大姐をはじめ同世代の同僚である李冬宝、余德利、戈玲らに対しても一部で“您”を使用しており、前節の表7で李冬宝と余德利がボスと先輩に対しても一部から半分は“你”を使用し、同世代の同僚に対しては全く“您”を使用していないのとは鮮明な違いを示している。

親密度が低い場合には“您”を使用しない方向に働く力が弱まるためにこのような使用状況の違いが生じるものと考えられることができる。

(2) 親密度ゼロの場合

表10に示したのは初対面、通りすがり、電話での会話など、話し手と聞き手の間の親密度がゼロの場合の使用状況である²⁹⁾。

表10 親密度ゼロ下での使用状況

話し手	聞き手	你	您
戈玲	读者	0	5
余德利	服务员	0	2
服务员	余德利	0	1
男	小贩	0	1

この表から親密度がゼロの場合には“您”が選択されやすいことが見て取れる。以下の例を参照されたい。

(3) 戈玲：您别寄什么钱物了。……是，是，是。

……行，把您的慰问转达给她。行。

……您甬问这个啊！这个人希望我们给她保密。…这地址不能告诉您。

……得，我给您转达。

(お金や物を送るのは止めてください。…はい、はい、はい。いいですよ。

慰めのお言葉は伝えます。はい。…それは聞かないで下さい。本人は秘密にすることを望んでいます。住所はお教えできません。…わかりました、伝えます。)

(4) 余德利：服务员。您给来碗汤，半斤包子。(ちょっと。スープと肉まんを半斤頂戴。)

服务员：您的包子。(お客様の肉まんです。)

余德利：行，谢谢您。(有難う。)

(5) 男：师傅，您拿一个《人间指南》。(お兄さん，《人间指南》取って。)

戈玲は編集部に通話してきた読者に対して一貫して“您”を選択し、余德利と食堂の服务员はお互いに“您”を選択している。通りがかりの男は新聞の売り子に対して“您”を選択している。台本中の例文数は少ないが、1.1で紹介したテキストの2例も客と従業員が本例と同様の選択をしているので、この選択は決して特殊なものではないと思われる。

戈玲にとって読者は大事なお客様でもあり、力関係が強く働いていると考えることもできるだろう。しかし、余德利は客でありながら“您”を選択している。サービスを提供する側とされる側が力関係にあり、提供する側はされる側より劣勢にあるというのであれば、余德利をはじめ1.1で示した例においても客は従業員に対して“您”を選択しないはずである。『中国語文法教室』が述べていたように「初対面」だから“您”を選択したのだと理解することもできるかもしれない。しかし露店で雑誌を買おうという時に売り子と初対面かどうかを考えるだろうか。

なぜ初対面³⁰⁾の時には“您”なのか、なぜ客が従業員に対して“您”を選択するのかという疑問に答えるには、むしろ話し手と聞き手の間に親密度がない時、すなわち親密度ゼロの状態にあるときは“您”を使わない方向に働く力がゼロとなるために、“您”を使う傾向が最大限に強まると考えるのが妥当ではないだろうか。

2.4 意図的な変換と無意識の変換

代詞の変換については《編輯部的故事》でも概ね陳と同様の変換が観察された。筆者はこれを大きく以下の3つに分類することにする。

(1) 話し手による意図的な変換

この種の変換は話し手と聞き手の力関係が明確で、全体を通して“你”（或いは“您”）を選択している中で、例外的に逆の選択をしている場合が多い。また話し手の変換の意図も比較的明確である。しかしこの種の変換は多くはなく、三作中に数例のみであった。最も顕著な例が王大爺と纓子、王大爺と余德利の間に見られる。参照されたい。

[王大爺→余德利：全14例中“您”は1例]

(6) 哼，他还惦记着我。惭愧，丢人。那会儿穷，没觉悟，不瞒您说，打从关外到关里，看着满街的中国人都新鲜……

(ふん。まだわしを気にかけているか。恥ずかしいことだ。面目ない。あの頃は貧しくて、自覚もなく、正直に言いますとな、田舎から出てきて、人が中国人が大勢いるのを見ても新鮮でしてな……)

これは“你”から“您”の変換例である。王大爺は余德利よりもひと世代上の年長者であり、余德利に対しては本例を除いて全てで“你”を選択している。前後の文脈によるとここで

王大爺は余德利達が自分の過去における政治的な問題を暴くためにやって来たものと勘違いし、意識的に相手を持ち上げる意図を持って“您”を選択している。その証拠にそうではないと分かった瞬間から“你”に戻っている。次の例を参照されたい。

[纓子→王大爺：全6例中“你”は1例]

(7) 什么呀，你可真不着四六儿。(何よ、本当に減茶苦茶なこと言って！)

これは“您”から“你”の変換例である。纓子と王大爺には祖父と孫という明確な力関係があり纓子は本例を除いて全てで“您”を選択している。しかし文脈によるとここで纓子は耳が遠いためか話の全く噛み合わない祖父に対して業を煮やし、呆れ返ってこの台詞を発している。これは聞き手を見下した軽侮とでも言える意図による変換と言えるだろう。さらに以下の例を参照されたい。

[王师傅→陈主编：全7例中“你”は2例]

(8) 你说这么个熬法，我怎么减肥啊？

(こんな方法でどうやってダイエットしろと言うのですか?)

(9) 你看，也没什么事儿闲着，实在是闲得难受，我就给他们…

(何もすることがなくて本当に暇そうで、見てられなかったのでつい…)

例8、9はいずれも“您”から“你”の変換例である。王师傅にとって陈主编は新しい職場のボスであり使用回数からみても基準となる選択は“您”である。しかし例8は王师傅が編集部員から無理なダイエットを強いられたことに憤慨し、感情的になって強く陈主编に抗議する場面である。見下すとまではいかないが例7に近い意図によって変換したものと言える。

一方例9は陈主编が李冬宝を厳しく叱責するのを見て、一転この場を収めようと言い訳を始める場面³¹⁾であり、これは目的を達成するため、特に親近感をアピールしようとする話し手の意図による変換と言える。

(2) 親密度の変化による意図的な変換

親密度の違いが代詞の選択に影響することは前節で述べたとおりだが、実際の間人関係では親密度は初対面をゼロとして次第に高まっていくのが普通である。そうすると親密度の高まりとともに“您”を使わない方向に働く力が弱まり、ある時点で代詞の変換が生じることが考えられる。以下の例を参照されたい。

[米继红→余德利：全6例中“您”は1例]

(10) 您认识拍电影儿的？ 什么女三号，女四号的我都行啊。

(映画監督とお知り合いなのですか？ 私、女3でも女4でも何でもいいですよ。)

上の例は米継紅が編集部に現れてすぐ、余德利に対して最初に発した言葉である。この後同情した編集部員は彼女を支援しようと計画し、余德利は米継紅を連れて食堂へ行くが、そこで米継紅は急に無遠慮になる。そこで二人は次のような会話を交わしている。参照されたい。

(11) 余德利：你拿这儿也当家了吧？（ここも自分の家だと思ってるんだろう？）

米継紅：不应该吗？ 我把你们都是当做亲人看待啦。

（いけない？ 私、みんなを家族のように思っているわよ。）

本人が語っているように、最初に編集部を訪ねた時点では初対面で親密度はゼロの状態にあり、これからどのような展開になるか未知数であった。しかし彼らが今後も自分と係わりを持って支援してくれることになった時点で米継紅は「身近な者、仲間」（“自己人”）として彼らを認識する。“您”から“你”への変換はその結果起こったと考えて良い。米継紅の李冬宝に対する“您”から“你”への変換も余德利との上の会話を境に起こっている。このような親密度の変化による変換も話し手の認識に基づいた一種の意識的な変換と捕らえることができる³²⁾。この種の変換とみられる例は44例中17例であった。その特徴は（1）とは異なり一時的なものではない点である。米継紅の例でも一度“您”から“你”へ変換した後は“你”が基準の選択となり、二度と“您”を使用することはなかった。

王师傅と編集部員の関係においても同様のことが言える。王师傅から編集部員への“您”の使用も物語前半に集中しており、後半には戈玲・李冬宝・余德利に対する“您”の使用は極端に少なくなり、“您”を選択する相手は陈主编に絞られていく。一方李冬宝の王师傅に対する使用状況を見ると、“你”が25回、“您”が6回で、基準となっているのは“你”とわかる。“您”の使用例を見てみると、物語前半の、王师傅が初登場し編集部員が彼にダイエットを決意させる場面までに集中しており、それ以降に使用例は見つからない。

しかし王大爷の場合は物語全体を通して戈玲・李冬宝・余德利らとの代詞の選択に変化は見られない。これは話し手と聞き手の間に世代の違いという明確な力関係が存在するからであろう。

(3) 無意識の変換

無意識の変換には陳の指摘するように会話の相手に注意せず、勢いにまかせて「よく考えずに選択を誤った」場合や感嘆や驚きなど瞬間的に代詞の変換にまで意識を向けることができず、「とっさに使ってしまった」と考えることができるものも確かにあった。下例を参照されたい。

(12) 余德利：咳，我告诉您啊，王大爷，这就可怪您了。您知道这么一“水淹七菌”，你又不说。我可跟您说心里话，如果咱有人吃了这水淹七菌有个好歹儿的，咱爷俩儿可手拉手奔法场。

(王さん、あなたが悪いのですよ。「水淹七菌」ってものがあると知りながら言わなかったんですから。正直に言いますが、もし誰かがこれを食べて何か起こったら、二人で手に手を取って刑場へ行きましょう。)

上の例は、王大爺の料理のレシピだと思って雑誌で紹介したものが、実は漢方薬で食べられないものだとわかり編集部が大騒ぎになる場面での余德利の王大爺に対する台詞である。ここで余德利が4回の“您”の間に何らかの意図をもって“你”に変換したとは思えない。慌てていたため「勢いで」「你」を使ってしまったという説明は納得できる。

さらに以下の例を参照されたい。

(13) 李冬宝：老陈，你尝尝。(陳さん，食べてみて。)

(14) 牛大姐：封面用小桔子？不行，不行。哎呀老陈，你这么凑和可不行啊。

(表紙にみかんを使うですって？だめだめ。陳さん，そんな間に合わせみたいなことをしちゃだめよ。)

興水 (1977)³³⁾でも触れているが，“你”には上の例のように「呼びかけ+“你”」の用法がある。“老一”がもともと親しさを示す接頭辞であること，例文が陳主編に対する編集部員の台詞にしか見られないことから，この形式はある程度以上の親密度がある場合に使用できると考えられる。この時の“你”は呼びかけの語と一体でありこの変換自体に意図があるわけではないので，これも無意識の変換と言える。

上に挙げた以外に，話し手と聞き手の間で“你”と“您”がほぼ同数選択されており，どちらが基準となる選択か判断しかねる場合がある。《编辑部的故事》では王师傅と同世代の編集部員(李・余・戈)との間，或いは編集部員同士(余德利・李冬宝と牛大姐或いは刘书友)といった力関係が明確でない場合に多く見られた。話し手が意識的に2つの代詞を使い分けようには見られず，無意識の変換と理解するしかない。例えば戈玲は王师傅に対して“你”を13回，“您”を26回使用している。彼女の場合“你”は物語の前半にも見られ，親密度の変化による“您”から“你”への変換とは関係ないことがわかる。以下の例などはひとつづきの台詞の中で“你”と“您”を使用しており，変換に明確な意図があるようには見えないし，“你”と“您”の意味にも違いは感じられない。この種の変換は陳が最後に指摘したものと一致している。参照されたい。

[戈 玲→王师傅³⁴⁾]

(15) 诶，你别灰心呢。王师傅，您文革的时候是几年级呀？

(がっかりしないで。王さん，文革の時は何年生だったの？)

[王师傅→余德利]

(16) 你看，有疑难病症的还真不少。这您都能治吗，这个？

(難病の疑いのある人って割と多いんだね。これ，みんな治せるの？)

[余德利→王师傅]

(17) 让你歇着还不是好事儿？ 这么些年您忙够了，该歇着了。

(休めって言われたんだ，いいことじゃないか。この数年忙しすぎたんだから，休むべきだよ。)

[王师傅→李冬宝]

(18) 您总得给我个适应过程，你说是不是？

(順応する過程を与えてくれたっていいだろう？)

[余德利→刘书友：全6例中“您”は2例]

(19) 唉哟，我说老刘您可真是的，你还怕孩子们将来吃不腻啊？

(劉さんったら，子ども達が将来食べ飽きないか心配じゃないかい？)

[李冬宝→牛大姐：全5例中“您”は2例]

(20) 您这是什么意思啊？ 一个萝卜给你硬不要合适吗？

(それはどういう意味ですか？大根一本をあげると言うのに絶対要らないなんて，それでいいと思いますか？)

陳はこれらの“你”は「中性の“你”」であり“您”と対立する意味の“你”とは別のものであるためにあまり違いが感じられないのだと説明しているが、興水(1977)が「“你”は目上にあたる人にも使うことができる」と述べてそれ自身に敬意を表す意味もあるとしているように、このような場合“你”と“您”の意味範疇が一部重なっているために、一定の条件のもとではこのような無意識の変換が起きると考えるほうが理解しやすい。無意識の変換の中でもこの種の変換が特に捉えにくい部分である。現時点で調査対象としたのは25話中3話のみで例文数も十分ではないため、話し手と聞き手の関係が曖昧である場合という以外にどのような要素が関係した時にこのような現象が起こるのかについては、今後さらに例文を補足して考察して行かなければならない。

3 まとめ

3.1 《编辑部的故事》における代詞の選択と変換

筆者は自身がディクテーションを行う中で二人称代詞の用法について正しくかつ十分な知識

を欠いているのではないかという反省に立ち、本学習項目についての入門期の教育を振り返って問題点を分析すると同時に、問題発見のきっかけとなったテレビドラマ《編輯部的故事》における“你”と“您”の選択と変換について、特に親密度とその変化の代詞選択への影響に注目しながら観察を行った。

“你”と“您”の選択と変換に影響する要素のうち話し手の属性の影響については、広く認識されているとおり、年齢や性別によって選択に違いが生じることが確認できたと同時に、米継紅の特異な使用例から個人の性格が選択に影響する様子が観察できた。

話し手と聞き手の関係については、親密度の異なる3種類の人間関係（編集部員同士・編集部員と王师傅・初対面或いは電話での会話）における使用例を比較することで、親密度とその変化が代詞の選択に大きく影響する様子を明確に示すことができたと同時に、親密度は“您”を選ばない方向に作用するという点で力関係とは反対の働きを持つこと、初対面を含む何らかの理由で親密度がゼロの時には“您”を選ばない力も最小の状態にあり、その後親密度の高まりと共にその力は大きくなり、ある時点で代詞の変換を引き起こす要因のひとつとなることも確認できた。

代詞の変換について、筆者は陳の分析を参考に話し手の意図的な変換と無意識の変換に分類し、前者には個々の状況に応じた話し手の意図と親密度の変化による変換が、後者には話し手の不注意によるものや熟語など以外に、「呼びかけ+“你”」の形式も見られることを指摘した。さらに“你”と“您”がほぼ同程度使用され、両者の意味にほとんど違いがないように感じられるものが確かにあること、そしてその多くが話し手と聞き手の力関係が曖昧な場合に起こっていることを確認した。

3.2 効果的な学習のための提案

二人称代詞“你”と“您”の教学について、現在のところ一体何が問題なのかを再度振り返ってみると以下の三点に集約できる。

- ①入門期の極めて早い段階で一度教えたきり二度と触れられないこと。
- ②派生義について教えないこと。
- ③代詞の変換について全く触れられないこと。

入門期の極めて早い段階で初出するため、極力簡潔な説明に止めざるを得ないことは理解できる。しかし筆者の使用テキストでも初期の段階で使用されていた「丁寧語」としての用法にすら言及せず、「您」は“你”の敬称である。」と教えることには問題がある。②とも関連するが、初出の段階で“你”と“您”の意味範疇は実は軽侮から尊敬まで幅広いことに言及しておくべきである。さらに③を全く避けて通っていることも問題である。そこで、学習がある程度進んだ段階で再度本学習項目をとりあげてこれらを補うことを提案する。②と③については、「あなた」と「あなた様」という対応関係、或いは「目上の人に対しては“您”」という固

定観念だけではなく、話し手の意図的な変換の代表的なパターンを例8、9のような具体例を挙げて紹介し、かつそれぞれの場合に代詞が表す意味を説明することが不可欠である。この種の変換は数が少ない上に意図が明確であることが多いので、パターンに分けて代詞の意味と連結させて提示するのが効果的であろう。また親密度に応じた選択とその変化に伴う変換については、特に「初対面の場合には“您”を使う」という説明ではなく、親密度がゼロの場合と説明した方が、より広い例（電話や通りすがりなど）を網羅することができ、1.1で見られたような学生の戸惑いを避けることが可能である。

注

- 1) ドラマの音声聞きながら台詞をディクテーションして初稿台本を作成し、ネイティブスピーカーに校正してもらった。六作品についてディクテーションを行ったが、今回は校正作業が完了している第四集《小保姆》、第八集《胖子的烦恼》及び第十九集《水淹七军》の三作について報告する。
- 2) 私たちの聴覚情報処理には、耳から入った音声情報を捕らえて処理する「ボトムアップ処理」と、既存の知識を動員して理解しようとする「トップダウン処理」のあることが知られている。これらの処理については『英語リスニング科学的上達法』山田恒夫、足立隆弘、ATR人間情報通信研究所著、1998、株式会社講談社に詳しい。例えば日本人学習者が、音声が曖昧だという条件のもとでそれが“你”なのか“您”なのかを考える際には、聞き手や状況、日本語の敬語の感覚など既存の知識を参考に類推する。従って既存の知識が正確でなければミスを引き起こすリスクは高まる。
- 3) 親密度効果については注2に既出の『英語リスニング科学の上達法』p 172を参照されたい。ここでは要するに「ついよく使っている“你”の方を選んでしまう」ためにミスが生じると理解してよい。
- 4) 《現代汉语词典》(第5版)、中国社会科学院语言研究所词典编辑室、商务印书馆、1978年第1版、2005年、p 1000。1998年の修订版では“人称代词 你(含敬意)”となっており、“你们”は含まれていなかった。“您”が単複同形の代詞であることが盛り込まれたものである。
- 5) 『白水社中国語辞典』伊地智善継、白水社、2002、p 994。
- 6) 『Why?にこたえるはじめての中国語の文法書』相原茂、石田知子、戸田市子共著、同学社、1996年初版、2005年13版、p 33。
- 7) 『中国語文法教室』杉村博文、大修館書店、1994年初版、1999七版、p 5。
- 8) “您”がもともと北京方言であり、複数形から尊称に転じたものであることはよく知られている。また、“你”より後から生じた形式でもある。「二人称、三人称の尊称は北京人を除いてはあまり用いない」太田(1972)という認識が一般的であるせいか“您”をめぐるのは複数形“您们”の用法についての論文が目立つ。
- 9) 《速成汉语初级教程》综合课本1、郭志良主编、北京语言文化大学出版社、1996。
- 10) 《速成汉语初级教程》综合课本1、p 182 第13课 课文の会話を参照されたい。
- 11) 実際に学生から「客から従業員に対しても『あなた様』と言うのか」と質問を受けた経験がある。
- 12) 『話す中国語 北京篇1』、董燕/遠藤光暁、朝日出版社、2001初版。第七課の本文はp 20を参照されたい。
- 13) BrownとGilmanが1960年に発表した論文の中で明らかにした観点。現時点では未だ原文に接していないため、周辺理解は主に三輪(2000)から得た。拙稿では陳(1986)の定義を踏襲する。陳によると力(power)関係とは「ある点(年齢、財産、社会的地位など)において一方が優位にある関係」、連帯(solidarity)関係とは「ある点において双方が共通点を持ち、それによって親密さ、平等感、仲間意識を持つような関係」である。
- 14) 代詞の「変換」は広い意味では「使い分け」に含まれるが、基準となる選択がなされた後に何らかの理由で一時的にもう一方の代詞に変えることを指すと理解する。
- 15) 陳は一般的に北京語で書かれていると見なされる老舍の《龙须沟》、《女店员》、《全家福》、苏叔阳

の《左邻右舍》,《丹心谱》,《家庭大事》,李龙云の《有这样一个小院》,《小井胡同》など五十年代から七十年代末の戯劇を題材としている。

- 16) 陳が規定したそれぞれの関係におけるふたつの代詞の原義と派生義は以下のとおりである。

力関係	(原義)	→	(派生義)	連帯関係	(原義)	→	(派生義)
您	尊敬		厳肅さ	您	よそよそしさ		遠慮
你	相手を見下す		ぞんざいさ	你	親密さ		親しみ

- 17) 中国語の敬語に関する研究は日本語ほど広範かつ仔細に至ってはいないという印象があり、今回は三輪(2000)、滝浦(2005)など日本語の敬語に関する著作からも全体的な知識を得た。荻野(1997)は日本語の敬語に関するアンケート調査をまとめたものであるが、先輩と後輩、高校では先輩だったが大学で後輩になった人、会社の若い先輩などとの間の敬語の使用について調査を行っていた。人間関係の中にはかくも複雑なものがあるとの認識から、筆者自身はあくまで二者択一しようとするのは意味がないように思えた。
- 18) 「“您”と対立する“你”」とは注16で示した「尊敬」と「見下す」のように“您”と一対の関係にある“你”のことを指す。
- 19) 「中性的の“你”」について陳は“中性的 T₀(=你)是单数第二人称代词的基底, …不包含任何其他意义的…”と説明している。つまり上に見られるような派生義を持たず、対象を指すだけのものということになる。
- 20) 2.4の例6を参照されたい。
- 21) 本ドラマの脚本を書いた王朔是北京生まれで、意図的に北京語を多く用いた作品を書くことで知られている。
- 22) 注15を参照されたい。
- 23) 例6を参照されたい。
- 24) 「意図を伴う変換」については2.4で詳しく触れている。参照されたい。
- 25) 表中の李社長とは戈玲にとって陳主編と同じ職場のボスと言える存在である。戈玲と陳主編との間に使用例がないため、比較の参考とするため戈玲の李社長に対する使用回数を挙げた。
- 26) 表中の雇主とは、ベビーシッターを雇うために面接に駆けつけた人々で特定の人物ではない。老王と赵妈は面接の結果雇い主となった夫婦。
- 27) もちろんベビーシッターが不足して売り手市場となっているという社会情勢も考慮に入れなければならない。雇い主候補者の代詞の選択は自分達の立場が劣勢にあるとの認識に立ったものであると考えてよいだろう。しかし米继红に同様の認識があったとしても彼女自身の性格を無視することはできない。
- 28) 表中の“厨师”は王师傅のもと同僚の調理師。
- 29) 表中の“服务员”は食堂のウェイトレスで、“小販”は新聞を売る露店の売り子。
- 30) 木村(1987)では「電話やドア越しの相手など、直接に対面しない相手には“谁呀?”“你是谁?”などごとく日常的に問いかける。つまり聞き手に対しては、たとえ未知の人物でも一というよりも、未知だからこそ余計無難に一敬語形(「どなた/どちら様」)を用いておこうとする日本語とは対照的に、中国語は直接対面する場合を除いては、聞き手に対しても、未知の段階では敬語を必要としない、ということである。」と述べている。上の“谁呀?”“你是谁?”については実体験からも納得できるが、例3で観察した結果とは食い違っている。80年代から90年代にかけての中国社会の変化が言語習慣に影響した結果かもしれないが、相手が読者であると分かった時点ですでに電話の相手は戈玲にとって完全に未知の人ではなくなっているとも解釈できる。
- 31) 実際の音声も例8とは一転して穏やかな口調に変わっている。
- 32) 陳は親密度の変化による代詞の変換には触れていない。
- 33) 輿水(1977), p 278を参照されたい。「現代中国語の二人称代名詞“你”は目上にあたるひと、たとえば生徒が先生に、子どもが両親に使うこともできる。また“Li lǎoshī, nǐ yě qù ma?”(李老师, 你也去吗?)”(李先生, あなたもいらっしゃいますか?)のようにまず目上のひとに「先生」「おかあさん」などと呼びかけてからnǐを使うことも少なくない。」と述べている。“你”自身に敬意が含まれるという指摘である。

34) 王师傅をめぐる使用例は2.3の表8, 9を参照されたい。

参考文献

- 陈松岑 1986. 〈北京话“你”“您”使用规律初探〉《语文研究》第3期。
 荻野綱雄 1997. 「敬語の現在—1997」『言語』1997年6月号。
 木村英樹 1987. 「中国語の敬語」『言語』Vol. 16, No 8。
 三輪 正 2000. 『人称詞と敬語—言語倫理的考察—』人文書院。
 興水 優 1977. 「中国語における敬語」『岩波講座 日本語4 敬語』岩波書店。
 太田辰夫 1972. 「中国語における敬語の問題」『言語生活』No. 249。
 山田恒夫, 足立隆弘 1998. 『英語リスニング科学的上達法』ATR人間情報通信研究所著。
 滝浦真人 2005. 『日本の敬語論 ポライトネス理論からの再検討』大修館書店。
 伊地智善継 2002. 『白水社中国語辞典』白水社。
 相原 茂, 石田知子, 戸田市子共著 2005. 『Why? にこたえるはじめての中国語の文法書』同学社。
 杉村博文 1999. 『中国語文法教室』大修館書店。
 董燕/遠藤光暁 2001. 『話す中国語 北京篇1』朝日出版社。
 郭志良主編 1996. 《速成汉语初级教程》综合课本1 北京语言文化大学出版社。
 中国社会科学院语言研究所词典编辑室 2005. 《现代汉语词典》(第5版) 商务印书馆。

例文引用作品

《編輯部の話》北京电视艺术中心音像出版社出版, 淄博华晨唱片发行有限责任公司发行。
 第四集《小保姆》, 第八集《胖子的烦恼》, 第十九集《水淹七军》

The Differential use of Second Person Pronoun, “ni” and “nin”

Mitsuyo SEKI

0 Introduction

1 Various views and issues on the second person pronoun “nin”

- 1.1 The explanation of “nin”
- 1.2 Controversy concerning Chen (1986)
- 1.3 Problems observed from the results of the dictation.

2 Differential use of “ni” and “nin” in “Bianji-bu de Gushi” (“Editorial Department Stories”) drama

- 2.1 Usage based on speaker age, sex and personality
- 2.2 Variation based on degree of familiarity
- 2.3 Variation in usage of “nin” with changes in familiarity
- 2.4 Planned and unconscious variations in usage

3 Conclusion

- 3.1 Result of the analysis of “Bianji-bu de Gushi” drama
- 3.2 Suggestions for the effective teaching of “ni” & “nin”

Keywords: Second person pronoun, Power relations, Solidarity, Variation, Degree of familiarity